

事実を深く知るために／メディアの取り組みを2つ紹介します

長谷川千秋(当会常任世話人、元朝日新聞大阪本社編集局長)

「第五福竜丸事件」というのは不正確です。1954年、米水爆実験で「死の灰」を浴び被ばくした第五福竜丸と同じビキニ周辺海域には多数のマグロ漁船が操業中で、航行する貨物船等もあり、多くの船乗りたちが被ばくしていたのです。しかし日米政府は結託して真実を隠蔽し救済を放置してきた—それが「ビキニ事件」です。「ビキニ国賠訴訟」はその責任を問うているのです。

真相解明に努めてきたメディアの仕事に触れてみてください。

1つは2016年、朝日新聞高知版に同社高知総局員だった西村奈緒美記者(現・東京本社社会部員)が連載した「南洋の雪」。11シリーズ計37回。元船員たちの生きざまを丹念に追いました。取材のいきさつや記者の想いは下記URLでどうぞ。

<https://digital.asahi.com/articles/ASKCZ7JTVKCZUTIL05W.html>

主な連載記事は太平洋核被災支援センターホームページの「ニュース・リンク」2017年12月5日付に収容されています。URLは <http://bikini-kakuhisai.jet55.com/news.html>

もう1つは、2014年8月6日に放映されたNHKスペシャル「水爆実験60年目の真実～ヒロシマが迫る“埋もれた被ばく”～」です。広島科学者たちによる科学調査や新資料から「なかったとされてきた被ばく」が明らかにされていくドキュメンタリー。放送内容は下記URLでどうぞ。

<http://www6.nhk.or.jp/special/detail/index.html?aid=20140806>

短縮版の動画は太平洋核被災支援センターHPの「ニュース・リンク」の「リンク」コーナーに収められています。58分の全編はNHKオンデマンドでご覧ください。下記URLからどうぞ。

<https://www.nhk-ondemand.jp/goods/G2014057584SA000/>

止